

2026年10月28日
株式会社新出光

長洲蓄電所、11月1日より本格運用開始 レドックスフロー電池を採用し、地域電力の安定化と脱炭素社会に貢献

株式会社新出光（本社：福岡県福岡市博多区、代表取締役社長 兼 グループCEO：出光 泰典）は、熊本県玉名郡長洲町に建設を進めてまいりました系統用蓄電池「長洲蓄電所」について、2026年11月1日（日）より本格運用を開始いたします。

本施設は、極めて高い安全性と長寿命を特長とする「レドックスフロー電池」を採用した当社初の系統用蓄電池事業です。当社は、電力需給の調整や再生可能エネルギーの有効活用を通じて、地域における脱炭素社会の実現に寄与してまいります。

なお、本格運用開始に先立ち、2026年10月27日（火）に関係者の皆様をお招きして竣工式を執り行いました。



背景

近年、持続可能な社会の実現に向けて太陽光や風力などの再生可能エネルギーの導入が急速に進む一方、天候による出力変動や、ピーク時における電力の需要と供給の乖離が大きな社会課題となっています。

本事業で運用を開始する「長洲蓄電所」は、電力系統に直接接続する系統用蓄電池として、電力需要や市場の変動に応じて最適に充放電を行うことで、電力系統の安定化や再生可能エネルギーの導入拡大に寄与します。

当社は本事業を通じて、地域における再生可能エネルギーの有効活用を促進し、電力の安定供給と脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

「レドックスフロー電池」の特長

■ 高い安全性（火災リスクの極小化）

不燃性の電解液と難燃性の材料を採用することで、火災リスクを極めて低く抑えています。周辺環境や地域社会にも配慮した、安全性の高い施設運営を実現します。

■ 長寿命（長期間の安定稼働）

充放電による電解液や電極の劣化がほとんど進行しないため、充放電の頻度や運転方法に左右されることがなく、長期間にわたる安定的な稼働が可能です。

■ エコフレンドリー（環境負荷の低減）

電解液および機器材料はリユース・リサイクルが可能な設計となっています。廃棄物の削減を通じて環境負荷の低減に貢献し、循環型社会（サーキュラーエコノミー）の実現を後押しします。

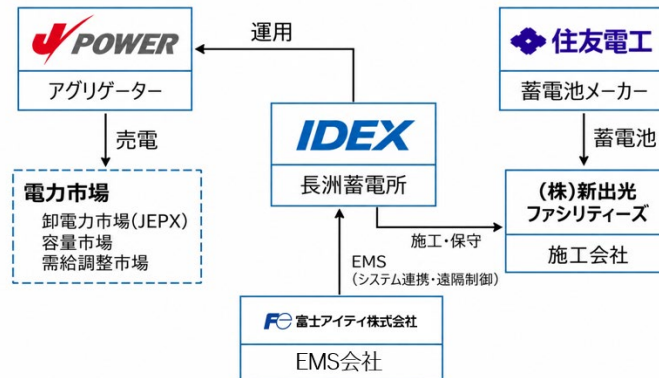
■ ライフサイクルコスト優位性（優れた経済性）

運用期間中におけるセルや電解液の定期的な交換が原則不要なため、ランニングコストを大幅に削減できます。長期的な事業運営において、極めて高い経済性を発揮します。

2026年10月28日
株式会社新出光

運用・管理体制

本事業では、各分野における専門性を有する企業と連携し、長洲蓄電所の運営を行います。蓄電池には、住友電気工業株式会社のレドックスフロー電池を採用し、株式会社新出光ファシリティーズが施工および保守を担当します。また、富士アイティ株式会社のエネルギー・マネジメントシステム（EMS）を導入し、蓄電所の状態監視や遠隔制御、各システムとの連携を行います。運用開始後は、電源開発株式会社（J-POWER）がアグリゲーターとして蓄電所の運用を担い、卸電力市場（JEPX）や容量市場、需給調整市場等を活用した電力取引を行います。



■ 企業情報

・株式会社新出光 (<https://www.idex.co.jp/>)

代表者：代表取締役社長兼グループCEO 出光 泰典／本社：福岡市博多区上呉服町1番10号

・株式会社新出光ファシリティーズ (<https://if.idex.co.jp/>)

代表者：代表取締役社長 中村 聡／本社：佐賀県鳥栖市今泉町2454番1

・住友電気工業株式会社 (<https://sumitomoelectric.com/jp/>)

代表者：代表取締役社長 井上 治／本社：大阪府中央区北浜4丁目5番33号

・電源開発株式会社 (<https://www.jppower.co.jp/>)

代表者：代表取締役社長 社長執行役員 加藤 英彰／本社：東京都中央区銀座六丁目15番1号

・富士アイティ株式会社 (<https://www.fujielectric.co.jp/fit/>)

代表者：代表取締役社長 岩本 正太郎／本社：東京都日野市富士町1番地

設備概要

名称	長洲蓄電所
所在地	熊本県玉名郡長洲町大字名石浜
定格出力	1,990kW
電池容量	8,000kWh
商業運転開始日	2026年11月1日
蓄電池メーカー	住友電気工業株式会社
電力市場での蓄電池運用	電源開発株式会社
施工会社・保守	株式会社新出光ファシリティーズ

当リリースに関するお問合せ先

イデックスグループの
キャンペーン情報はこちら株式会社新出光 電力企画課 岩本・山本 電話：092-291-4160
株式会社新出光 広報担当 久良木・笠茂 電話：092-291-4134